

丸岡城は日本の重要文化財である。現存天守閣では最古の建築様式と独特な構造を持ち、四季の移り変わりによって、景色も変わる。そして、丸岡城は面白い伝説もあるし、交通も便利なので、本当にいいところであると思う。

# 一緒に丸岡城へ 行きましょう

旅行者 TIMES

令和元年(2019年)12月9日  
月曜日  
第一期

## 丸岡城の建築様式

福井県坂井市の観光ガイドの「現存する日本最古の天守閣 丸岡城」によると、外観は丸岡城の天守閣が二階建てに見えるが、内部は三階建て（二層三階）となっている。

一階の壁には、「石落とし」や「狭間」が見える。石落としは、ベランダのように天守から張り出していて、天守の石垣を登ってくる真下の敵に石を落としたり、弓や鉄砲を撃ったところだ。狭間は、天守の壁面に空いている小さな穴や小窓のことで、石落とし同様、ここから石を投げたり、弓や鉄砲が撃てた。

江戸時代につくられた城は、城主の権威を示すため、大きく立派で多層式のものが目立つが、丸岡城内は戦国時代の雰囲気である。豪華さや優美さより、いたる所にある敵に対する備えの方が目を引く。

一階から二階、二階から三階へは、急な階段を登り綱の助けをかりながら上がる。


最上階三階の望楼は、ふもとから約35mの高さだ。天気の良い日は四方の窓が開け放たれ、当時の城主が眺めたものと同様の丸岡の町並み、坂井平野の田園風景、かつて豊原寺があった山並みを、さえぎるものなく見渡せる。





丸岡城の天守閣  
撮影者：LIAO WENYU

## 外国人は丸岡城について

### どう思いますか？

 中国人：中国のお城と比べて、丸岡城はちょっと小さいが、独特な魅力もあると思う。例えば、丸岡城の外観は二層であるが、内部は三層であるのデザインは中国の古い建築にとって珍しいと思う。そして、石垣は「野づら積み」で、すき間が多く粗雑な印象ながら、排水がよく大雨に崩れる心配がないので、昔の日本人の知恵に感心した。

 ベトナム人：丸岡城について一番印象に残ったことは丸岡城の周りの景色である。春になると、お城は満開の素敵な桜で囲まれる。夏にはカラフルなつつじと木の緑で囲まれる。ベトナムにあるお城の周りの景色は一年中であまり変わらないので、丸岡城の周りの景色が季節によって違うのは面白くて、素晴らしいと思う。

 イタリア人：日本のお城はヨーロッパのもの比べると、確かに異なる部分が見られる。例えば、日本のお城は木造である。一方、ヨーロッパのお城は石造だ。それに、日本のお城は、ヨーロッパのお城ほど大きくないが、その雄大さは負けていないと思う。

## 丸岡城の由来

男大迹皇子（おほどおうじ）が、坂中井（さかなかい）の麻留古乎加（まるこのか）に住んで居られた時、そのお後の倭媛との間に2男2女がおられた。第2皇子が椀子（まねこ）皇子といい、皇子の御胎衣を丸岡城の南に埋めた所と言われている。いつしか、この地は麻留は丸、乎加は丘陵の岡、つまり、丸い岡のある地、現在の丸岡の地名になった。

## 丸岡城の伝説

丸岡城を建てる時、天守台の石垣が何度も崩れ、工事が進行しなかったため、神へ備えるために埋める人柱を立てることにしてしまったそう。そのお城に住んでいた貧しい片目の未亡人は、息子を武士自分に取り立ててもらおう約束で、人柱となる事を申し出た。その願いは受け入れられ、未亡人が人柱となり、天守の工事は無事完了した。しかし、息子を十分に約束は果たされなかった。怨んだ未亡人の霊が大蛇となって暴れ回ったという。そのため、毎年四月に堀の藻を刈る頃に丸岡城は大雨に見舞われ、人々はそれを未亡人の霊の涙雨と呼んだ。

## 丸岡城の景色

丸岡城（霞ヶ城）は、柴田勝豊（しばたかつとよ）（不明-1583）が天正四年（西暦1576年）北の庄城（福井）の支城として築城したお城だ。屋根が珍しい瓦で葺かれたこの天守は今まで存在されている天守で、城郭建築史上の重要な建造物だ。城郭一帯には、数百本の吉野桜が植えられ、毎年4月の開花時期に花の霞に古城の眺めはひとしお旅情をそそるものがある。1979年に築城400年を記念して、造られた日本庭園式の霞ヶ城公園は春はみどり、秋は紅葉が美しい。



霞ヶ城公園の秋  
撮影者：WANG YUXUAN

## 交通手段

福井大学から丸岡城までの交通アクセス  
丸岡城の所在地:福井県坂井市丸岡町霞町 1-59  
京福バス:  
・31 丸岡線（明道中学校前・森田経由）「丸岡城前」下車。  
福井大学から田原町まで歩いて行って、京福バス31に乗る。  
・32 丸岡線（町屋町・森田経由）「丸岡城前」下車。  
福井大学から福井駅井トヨペット前まで歩いて/自転車で行って、京福バス32に乗る。  
\*詳しい情報は京福バスのサイトで確認してください <https://bus.keifuku.co.jp>

昔の人と同じ風景を見て、同じ気持ちを体験して、そして、歴史を振り返って文化を継承していくために、文化保護は欠かせないことであると思う。どの国の古い建築にも昔の人の残した知恵が含まれていて、その地域の独特な文化もあるので、国の重要文化財としてだけではなく、世界全体の文化財として大切にしなければならないと思う。世界の重要文化財としての丸岡城へ一度行ってみると良いのではないだろうか。

WANG YUXUAN・教育学部3年  
LIAO WENYU・教育学部3年  
TRAN NU YEN LINH・国際地域学部4年  
MARANDOLA PIERLUIGI・国際地域学部4年